

平成21年5月8日

各位

会社名 美濃窯業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 太田 滋俊
 コード番号 5356
 上場取引所 名証第二部
 問合せ先 取締役執行役員管理部門管掌
 兼総務部長 中尾 晴一郎
 TEL (052) 551-9221

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年5月21日に公表いたしました平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

・業績予想の修正

1. 平成21年3月期連結業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------|---------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 10,000 | 百万円 370 | 百万円 380 | 百万円 180 | 円 銭 17 70 |
| 今回修正予想(B) | 9,870 | 615 | 635 | 200 | 19 62 |
| 増減額(B-A) | 130 | 245 | 255 | 20 | |
| 増減率(%) | 1.3 | 66.2 | 67.1 | 11.1 | |
| 前期(平成20年3月期)実績 | 9,990 | 366 | 377 | 172 | 17 07 |

2. 平成21年3月期個別業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------|--------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 8,300 | 百万円 300 | 百万円 300 | 百万円 130 | 円 銭 10 08 |
| 今回修正予想(B) | 7,040 | 445 | 460 | 100 | 7 76 |
| 増減額(B-A) | 1,260 | 145 | 160 | 30 | |
| 増減率(%) | 15.2 | 48.3 | 53.3 | 23.1 | |
| 前期(平成20年3月期)実績 | 8,320 | 206 | 215 | 102 | 7 94 |

3. 修正の主な理由

(連結)

売上高につきましては、当初予想とほぼ同額を計上する見込みではありますが、全社にわたる徹底したコストダウンの成果とプラント工事における高付加価値製品の販売が伸びたことにより、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、前回予想を上回る見込みとなりました。

(個別)

売上高につきましては、一部子会社を事業統合した結果減少いたしました。事業統合効果ならびに連結業績における説明と同様の理由により、営業利益、経常利益は予想数値を上回る見込みとなりました。しかし、次に記載のとおり、投資有価証券評価損等の特別損失の計上の影響もあり当期純利益は予想数字を下回る見込みとなりました。

・特別損失の計上及びその内容

下記のとおり、平成21年3月期において特別損失を連結で219百万円、個別で218百万円計上いたします。

投資有価証券評価損

保有する投資有価証券につき、時価が著しく下落し回復する見込があると認められないものについて、投資有価証券評価損22百万円(連結・個別同額)を計上いたします。

減損損失

景気後退による需要の減少と競争激化により、事業環境が急激に悪化したこと及び今後の見通しを勘案し、保有する事業用固定資産の回収可能性を検討した結果、減損損失48百万円(連結・個別同額)を計上いたします。

固定資産除却損

老朽化および陳腐化した生産設備およびソフトウェアを除却した結果、固定資産除却損 連結91百万円、個別90百万円を計上いたします。

工事補償損失

プラント工事においてクレームが発生しその補償工事のため、工事補償損失55百万円(連結・個別同額)を計上いたします。

【業績予想に関する注意】

今回の修正は発表日現在の入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の種々の要因により若干異なる可能性もあります。

以 上